

選択取水設備 取水ゲート(No.1,2)(扉体)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果
から対策の必要なものをNとし、必要
に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.1,2)		ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)					扉体			
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。									
装置区分	点検・整備		項目	内容	点検 *3				判定	備考		
	*1 重要機器	*2 機能影響度に対する			*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	不定期			*6 臨時	総合
					月点検	年点検	時					
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。		
			ごみ、流木、土砂等		前	E	E	(洪)	E	ごみ、流木、土砂等がないこと。		
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			劣化		前		E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白垂化がないこと。		
扉体	○	構造全体	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
	b	スキンプレート	変形			無水		E		E	変形がないこと。	
			損傷			無水		E		E	損傷がないこと。	
			溶接部の割れ			無水		E		E	割れがないこと。	
			腐食(孔食)	○		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。	
	b	主桁、補助桁	変形			無水		E		E,M	変形がないこと。	
			損傷			無水		E		E	損傷がないこと。	
			板厚の減少			無水				M	測定結果により判定のこと。	
			腐食(孔食)			無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。	
			溶接部の割れ			無水		E		E	割れがないこと。	
	b	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落			無水		E,H	(地)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。	
			損傷			無水		E		E	損傷がないこと。	
腐食(孔食)					無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。		

選択取水設備 取水ゲート(No.1,2)(扉体)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E: 目視、M: 測定、H: 触診・指触
S: 聴診・聴覚、D: 動作確認、W: 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A: 調整、X: 交換、U: 補給
- *8 G: 良好あるいは異常なし
N: 異常(要処置(保全整備))
-: 内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.1,2)		ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				扉体		
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。							
装置区分	点検・整備		項目	内容	点検 *3				判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能に影響度に対する			*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	不定期		
					月点検	年点検	時			
支承部	○	a	主ローラ、ローラ軸、軸受	摩耗	無水	E		M	摩耗がないこと。	
		a		損傷	無水	E	(地)	E	損傷がないこと。	
		a		腐食(孔食)	無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。	
		a		給油状態	無水	E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
		a		回転状況	中	D		D	正常に回転すること。	
	b	補助ローラ、軸、軸受	b	摩耗	無水	E		M	摩耗がないこと。	
			b	損傷	無水	E	(地)	E	損傷がないこと。	
			b	腐食(孔食)	無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。	
			b	給油状態	無水	E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
			b	回転状況	中	D		D	正常に回転すること。	
	○	摺動板	a	摩耗	無水	E		M	摩耗がないこと。	
			a	損傷	無水	E	(地)	E	損傷がないこと。	
			a	変形	無水	E		E	変形がないこと。	
	○	シーブ、軸、軸受	a	給油状態	無水	E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
			a	作動状況	中	D	(地)	D	正常に回転すること。	
a			摩耗	無水	E		M	摩耗がないこと。		
水密部	b	水密ゴム	変形	無水	E		E	変形がないこと。		
			損傷	無水	E		E	損傷がないこと。		
			劣化	無水	E		E	劣化がないこと。		
			漏水	無水	E		E	漏水がないこと。		
	b	ゴム押え板	変形	無水	E		E	変形がないこと。		
			損傷	無水	E		E	損傷がないこと。		
			腐食(孔食)	無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。		

選択取水設備 取水ゲート(No.1,2) (戸当り)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.1,2)			ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				戸当り		
設備に要求される機能		確実に規定量の取水ができること。									
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	点検 *3				*8 判定	備考
	*1 重要機器	*2 影響度に対する				定期	不定期	判定方法			
					月点検	年点検	*6 臨時		総合		
全般	c	清掃状態	汚れ	無水	E	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。				
			ごみ、流木、土砂等	無水	E	(洪)	E	戸溝にごみ、流木、土砂等がないこと。			
	c	塗装	損傷	無水	E	E	損傷がないこと。				
			劣化	無水	E	E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退化、白亜化がないこと。				
埋設部	b	主ローラレール	変形	無水	E	(地)	E	変形がないこと。			
			損傷	無水	E	(地)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)	無水	E	E	腐食(孔食)がないこと。				
			溶接部の割れ	無水	E	(地)	E	割れがないこと。			
	c	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	無水	E	(地)	E	ゆるみ、脱落がないこと。			
			損傷	無水	E	E	損傷がないこと。				
			腐食(孔食)	無水	E	E	腐食(孔食)がないこと。				
	b	補助ローラレール	変形	無水	E	(地)	E	変形がないこと。			
			損傷	無水	E	(地)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)	無水	E	E	腐食(孔食)がないこと。				
			溶接部の割れ	無水	E	(地)	E	割れがないこと。			

選択取水設備 取水ゲート(No.1.2) (開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A：調整、X：交換、U：補給
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.1.2)			ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				開閉装置		
設備に要求される機能		確実に規定量の取水ができること。									
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	点検 *3				*8 判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能に 対する				*5 点検 条件	定期		不定期		
						月 点 検	年 点 検	*6 臨 時	総 合		
全 般		c	清掃状態	汚れ		前	E	E	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。	
		b	塗装	損傷		前		E	E	損傷がないこと。	
		b		劣化		前		E	E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白垂化がないこと。	
構 造 体	○	b	構造全体	振動		中	H	H	H	異常振動がないこと。	
				異常音		中	S	S	S	異常音がないこと。	
	○	b	フレーム	たわみ		前		E	(地) E	たわみがないこと。	
				変形		前		E	(地) E	変形がないこと。	
				溶接部の割れ		前		E	(地) E	割れがないこと。	
	○	b	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落		前		E,H	(地) E,H	ゆるみ、脱落がないこと。	
				損傷		前	E	E	E	損傷がないこと。	
腐食(孔食)					前		E	E	腐食(孔食)がないこと。		
動 力 部	○	b	電動機	振動		中	H	H	H	異常振動がないこと。	
				異常音		中	S	S	S	異常音がないこと。	
				温度上昇	○	中	H	M	M	異常な温度上昇がないこと	
				電流値	○	中	E	M	(雷) M	大幅な変動が無く、定格電流値以下であること。	
				電圧値	○	中		M	(雷) M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること	
				絶縁抵抗値	○	断		M	(雷) M	絶縁抵抗計で測定を行い、1MΩ以下であること。	
				減 速 装 置	○	b	減速機	振動		中	H
異常音		中	S					S	S	異常音がないこと。	
温度上昇		中	H					M	M	異常な温度上昇がないこと	
漏油		前	E					E	(地) E	漏油が無いこと。	
潤滑油量		前						E	E	規定量があること	
潤滑油劣化		前						E	E	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと。	
内部状態		休							W	内部構成部に損傷、異常な摩耗がないこと。	

選択取水設備 取水ゲート(No.1.2) (開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A：調整、X：交換、U：補給
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.1.2)		ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				開閉装置	
設備に要求される機能		確実に規定量の取水ができること。							
装置区分	点検・整備		点検 *3					判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能に影響度に対する	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時		
	項目	内容	月点検	年点検	総合	判定方法			
動力伝達部	○	a	手動装置	作動状況	中	D	D	D	スムーズに切り替えられ、手動操作が行えること。
		b		振動	中	H	H	H	異常振動がないこと。
		b		異常音	中	S	S	S	異常音がないこと。
	○	b	連動軸	変形	前		E (地)	E	変形がないこと。
				損傷	前	E	E (地)	E	損傷がないこと。
		b	軸受け	振動	中	H	H	H	異常振動がないこと。
				異常音	中	S	S	S	異常音がないこと。
				温度上昇	中	H	M	M	異常な温度上昇がないこと
				芯振れ	中			M	異常な芯振れがないこと。
				給油状態	前		E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。
a	摩耗	休		E	M	摩耗がないこと。			
扉体駆動部	b	ドラム	変形	前		E (地)	E	変形がないこと。	
			損傷	前		E (地)	E	損傷がないこと。	
			摩耗	休		E	M	摩耗がないこと。	
	b	ドラム軸	変形	前		E (地)	E	変形がないこと。	
			損傷	前		E (地)	E	損傷がないこと。	
	b	ドラムロープ端末	ゆるみ、脱落	前		E (地)	E	ゆるみ、脱落がないこと。	
	○	a	ワイヤロープ	ゴミ、異物の付着	前	E	E (洪)	E	ゴミ、砂埃等がロープに付着していないこと。
				変形	前	E	E (地)(洪)	E	線の不規則な飛出し、部分的な籠状、キンク等がないこと。
				発錆	前		E	E	発錆がないこと。
				摩耗	○	休	M	M	異常な摩耗がないこと。
素線切れ				○	前	E (地)(洪)	E	異常な素線切れがないこと。	
給油状態				前	E	E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
○	a	ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット	前	E	E (地)	E	緩みがないこと。	
			ソケット	前		E (地)	E	割リピンが外れていないこと。	
			ロープ長さ	前		E (地)	E	閉時にロープの緩みが左右同一であること。	
			給油状態	前		E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
	a	制限開閉器	作動状況	中	E	D (雷)	D	設定値で正常に作動すること。	
			変形	前	E	E (地)	E	変形がないこと。	
			損傷	前	E	E (地)	E	損傷がないこと。	
a	直動形リミットスイッチ	作動状況	中	E	D (雷)	D	設定値で正常に作動すること。		
		変形	前	E	E (地)	E	変形がないこと。		
		損傷	前	E	E (地)	E	損傷がないこと。		

選択取水設備 取水ゲート(No.1.2) (開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.1.2)		ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				開閉装置					
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。										
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	点検 *3				*8 判定	備考		
	*1 重要機器	*2 影響能 度に対 する				*5 点検 条件	定期		不定期			*6 臨時 時 合	
							月 点 検	年 点 検	月 点 検				年 点 検
開 度 計	b	機械式	作動状況		中	E	D		D	実揚程と指針表示が合致していること			
	c		盤面の曇り		前		E		E	表示面が透明で、視認に支障がないこと。			

選択取水設備 取水ゲート(No.3,4) (扉体)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 … ○
- *2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり … b
機能上影響なし … c
- *3 点検 E: 目視、M: 測定、H: 触診・指触
S: 聴診・聴覚、D: 動作確認、W: 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある … ○
- *5 点検条件 … 前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ … (地)
落雷時のみ … (雷)
洪水時のみ … (洪)
- *7 整備 A: 調整、X: 交換、U: 補給
- *8 G: 良好あるいは異常なし
N: 異常(要処置(保全整備))
-: 内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		選択取水設備 取水ゲート(No.3,4)		ゲート形式		多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				扉体			
設備に要求される機能				確実に規定量の取水ができること。									
装置区分	点検・整備			項目	内容	*4 トレンド管理	*3 点検				*8 判定	備考	
	*1 重要機器	*2 影響度に対する					定期	不定期	*6 総合				判定方法
						月点検	年点検	臨時	総合				
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E	E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。				
			ごみ、流木、土砂等	前	E	E	(洪)	E	ごみ、流木、土砂等がないこと。				
	b	塗装	損傷	前		E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前		E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退化、白垂化がないこと。				
扉体	○	構造全体	振動	中	H	H		H	異常振動がないこと。				
			異常音	中	S	S		S	異常音がないこと。				
	b	スキンプレート	変形		無水		E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。			
			腐食(孔食)	○	無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
	b	主桁、補助桁	変形		無水		E		E,M	変形がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			板厚の減少		無水				M	測定結果により判定のこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。			
	b	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落		無水		E,H	(地)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
	支承部	○	主ローラ、ローラ軸、軸受	摩耗		無水		E		M	摩耗がないこと。		
				損傷		無水		E	(地)	E	損傷がないこと。		
腐食(孔食)					無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
給油状態					無水		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
回転状況					中		D		D	正常に回転すること。			
b		補助ローラ、軸、軸受	摩耗		無水		E		M	摩耗がないこと。			
			損傷		無水		E	(地)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			給油状態		無水		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
			回転状況		中		D		D	正常に回転すること。			
○		摺動板	摩耗		無水		E		M	摩耗がないこと。			
			損傷		無水		E	(地)	E	損傷がないこと。			
	変形			無水		E		E	変形がないこと。				

選択取水設備 取水ゲート(No.3,4) (扉体)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E: 目視、M: 測定、H: 触診・指触
S: 聴診・聴覚、D: 動作確認、W: 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A: 調整、X: 交換、U: 補給
- *8 G: 良好あるいは異常なし
N: 異常(要処置(保全整備))
-: 内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.3,4)	ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)	扉体									
設備に要求される機能		確実に規定量の取水ができること。											
装置区分	点検・整備		点検 *3						判定	備考			
	*1 重要機器	*2 影響能度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期				不定期		判定方法
							月点検	年点検			*6 臨時	総合	
扉体付シープ	○	a	シープ、軸、軸受	給油状態		無水		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		作動状況		中		D	(地)	D	正常に回転すること。		
		a		摩耗		無水		E		M	M	摩耗がないこと。	
水密部		b	水密ゴム	変形		無水		E		E	変形がないこと。		
		b		損傷		無水		E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		無水		E		E	劣化がないこと。		
		b		漏水		無水		E		E	漏水がないこと。		
		b	ゴム押え板	変形		無水		E		E	変形がないこと。		
		b		損傷		無水		E		E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。		

選択取水設備 取水ゲート(No.3,4) (戸当り)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器・・・○
 *2 機能上著しく影響あり・・・a
 機能上影響あり・・・b
 機能上影響なし・・・c
 *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
 S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
 *5 点検条件・・・前、中、後、休、断
 有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う・・・○
 地震時のみ・・・(地)
 落雷時のみ・・・(雷)
 洪水時のみ・・・(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
 N:異常(要処置(保全整備))
 -:内容の実施なし
 塗装劣化に関しては、総合的評価結果
 から対策の必要なものをNとし、必要
 に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.3,4)			ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				戸当り			
設備に要求される機能 点検・整備			確実に規定量の取水ができること。									
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上著しく影響あり 機能上影響なし	項目	内容	*4 トレンド管理	*3 点検				*6 臨時 時 合	*8 判定	備考
						*5 点検条件	定期	不定期	判定方法			
						月点検	年点検					
全般	c	清掃状態	汚れ	無水	E	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。					
			ごみ、流木、土砂等	無水	E (洪)	E	戸溝にごみ、流木、土砂等がないこと。					
	c	塗装	損傷	無水	E	E	損傷がないこと。					
			劣化	無水	E	E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退 化、白亜化がないこと。					
埋設部	b	主ローラレール	変形	無水	E (地)	E	変形がないこと。					
			損傷	無水	E (地)	E	損傷がないこと。					
			腐食(孔食)	無水	E	E	腐食(孔食)がないこと。					
			溶接部の割れ	無水	E (地)	E	割れがないこと。					
	c	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	無水	E (地)	E	ゆるみ、脱落がないこと。					
			損傷	無水	E	E	損傷がないこと。					
			腐食(孔食)	無水	E	E	腐食(孔食)がないこと。					
	b	補助ローラレール	変形	無水	E (地)	E	変形がないこと。					
			損傷	無水	E (地)	E	損傷がないこと。					
			腐食(孔食)	無水	E	E	腐食(孔食)がないこと。					
			溶接部の割れ	無水	E (地)	E	割れがないこと。					

選択取水設備 取水ゲート(No.3.4) (開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E: 目視、M: 測定、H: 触診・指触
S: 聴診・聴覚、D: 動作確認、W: 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A: 調整、X: 交換、U: 補給
- *8 G: 良好あるいは異常なし
N: 異常(要処置(保全整備))
-: 内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.3.4)		ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				開閉装置					
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。										
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド 管理	点検 *3				*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影響 度 に 対 する				定期	不定期	判定方法					
						月 点 検	年 点 検	*6 臨 時	総 合				
全 般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E	E	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。			
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退 化、白亜化がないこと。			
構 造 体	b	構造全体	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
	○	フレーム	たわみ		前		E	(地)	E	たわみがないこと。			
			変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。			
	b	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落		前		E,H	(地)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。			
			損傷		前		E	E		E	損傷がないこと。		
			腐食(孔食)		前		E		E		E	腐食(孔食)がないこと。	
	動 力 部	○	電動機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
異常音					中	S	S		S	異常音がないこと。			
温度上昇				○	中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと			
電流値				○	中	E	M	(雷)	M	大幅な変動が無く、定格電流値 以下であること。			
電圧値				○	中		M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以 内であること			
絶縁抵抗値				○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計で測定を行い、1M Ω以下であること。			
減 速 装 置	○	減速機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと			
			漏油		前		E	(地)	E	漏油が無いこと。			
			潤滑油量		前		E		E	規定量があること			
			潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りが無く、乳白色化し ていないこと。			
			内部状態		休				W		内部構成品に損傷、異常な摩 耗がないこと。		

選択取水設備 取水ゲート(No.3,4) (開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E: 目視、M: 測定、H: 触診・指触
S: 聴診・聴覚、D: 動作確認、W: 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A: 調整、X: 交換、U: 補給
- *8 G: 良好あるいは異常なし
N: 異常(要処置(保全整備))
-: 内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備	取水ゲート(No.3,4)	ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)	開閉装置					
設備に要求される機能		確実に規定量の取水ができること。								
装置区分	点検・整備		点検 *3					判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能上著しく影響に合する項目	*4 トレンド管理	定期		不定期				判定方法
				*5 点検条件	月点検	年点検	*6 臨時			
動力伝達部	○	a	手動装置	作動状況	中	D	D	D	スムーズに切り替えられ、手動操作が行えること。	
		b		振動	中	H	H	H	異常振動がないこと。	
		b		異常音	中	S	S	S	異常音がないこと。	
	○	b	連動軸	変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。	
		b		損傷	前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。
	○	b	軸受け	振動	中	H	H	H	異常振動がないこと。	
		b		異常音	中	S	S	S	異常音がないこと。	
		a		温度上昇	中	H	M	M	異常な温度上昇がないこと	
		a		芯振れ	中			M	異常な芯振れがないこと。	
		b		給油状態	前	E	E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
		a		摩耗	休	E	M	M	摩耗がないこと。	
	扉体駆動部	○	b	ドラム	変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。
b			損傷		前	E	(地)	E	損傷がないこと。	
b			摩耗		休	E	M	M	摩耗がないこと。	
○		b	ドラム軸	変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。	
		b		損傷	前	E	(地)	E	損傷がないこと。	
○		b	ドラムロープ端末	ゆるみ、脱落	前	E	(地)	E	ゆるみ、脱落がないこと。	
○		b	ワイヤロープ	ゴミ、異物の付着	前	E	E	(洪)	E	ゴミ、砂埃等がロープに付着していないこと。
		a		変形	前	E	E	(地)(洪)	E	線の不規則な飛出し、部分的な籠状、キンク等がないこと。
		a		発錆	前	E	E	E	発錆がないこと。	
		a		摩耗	○	休	M	M	異常な摩耗がないこと。	
		a		素線切れ	○	前	E	(地)(洪)	E	異常な素線切れがないこと。
		a		給油状態	前	E	E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
保護装置	○	a	ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット	前	E	E	(地)	E	緩みがないこと。
		a		ソケット	前	E	(地)	E	割りピンが外れていないこと。	
		b		ロープ長さ	前	E	(地)	E	閉時にロープの緩みが左右同一であること。	
		b		給油状態	前	E	E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
	○	a	制限開閉器	作動状況	中	E	D	(雷)	D	設定値で正常に作動すること。
		a		変形	前	E	E	(地)	E	変形がないこと。
		a		損傷	前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。
	○	a	直動形リミットスイッチ	作動状況	中	E	D	(雷)	D	設定値で正常に作動すること。
		a		変形	前	E	E	(地)	E	変形がないこと。
a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。	

選択取水設備 取水ゲート(No.3.4) (開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 取水ゲート(No.3.4)			ゲート形式	多孔式ゲート(多孔式連結開閉機型)				開閉装置		
設備に要求される機能		確実に規定量の取水ができること。									
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	点検 *3				*8 判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能度に 合対する				*5 点検条件	定期	不定期	*6 臨時 総合		
開度計	b	機械式	作動状況	中	E	D		D		実揚程と指針表示が合致していること	
	c		盤面の曇り		前		E		E	表示面が透明で、視認に支障がないこと。	

選択取水設備 スクリーン

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A：調整、X：交換、U：補綴
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		選択取水設備 スクリーン				固定式局部スクリーン								
設備に要求される機能		ごみ、塵芥などの流入防止												
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド 管理	点 検 *3				*6 臨 時 合	判定方法	*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 度 に 対 す る				定 期	不 定 期	月 点 検	年 点 検					総 時 合
						月	年							
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E	E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。					
			ごみ、流木、土砂等	前	E	E	(洪)	E	ごみ、流木、土砂等がないこと。					
	b	塗装	損傷	前	E	E		E	損傷がないこと。					
			劣化	前		E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと。					
スクリーン	○	スクリーン	変形	前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。					
			損傷	前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。					
			板厚の減少	前				M	測定結果により判定のこと。					
			腐食(孔食)	前		E		E	腐食(孔食)がないこと。					
	a	通しボルト、ナット	ゆるみ、脱落	前		E,H	(地) (洪)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。					
			損傷	前	E	E		E	損傷がないこと。					
			腐食(孔食)	前		E		E	腐食(孔食)がないこと。					
	受析	○	受析	変形	前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。				
				損傷	前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。				
板厚の減少				前				M	測定結果により判定のこと。					
腐食(孔食)				前		E		E	腐食(孔食)がないこと。					
溶接部の割れ				前		E	(地) (洪)	E	割れがないこと。					
b		ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	前		E,H	(地) (洪)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。					
			損傷	前	E	E		E	損傷がないこと。					
			腐食(孔食)	前		E		E	腐食(孔食)がないこと。					

選択取水設備 水位低下用ゲート(扉体)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり・・・a
機能上影響あり・・・b
機能上影響なし・・・c
- *3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件・・・前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う・・・○
地震時のみ・・・(地)
落雷時のみ・・・(雷)
洪水時のみ・・・(洪)
- *7 整備 A：調整、X：交換、U：補修
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 水位低下用ゲート		ゲート形式	鋼製ローラゲート(φ600×1門)					扉体				
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。										
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド 管理	点検 *3			*6 臨時 総合	判定方法	*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 機能 度 に 対 する				*5 点 検 条 件	定期	不定期					*6 臨 時
						月 点 検	年 点 検						
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。			
			ごみ、流木、土砂等		前	E	E	(洪)	E	ごみ、流木、土砂等がないこと。			
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変色、白亜化がないこと。			
扉体	○	構造全体	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
	b	スキンプレート	変形		無水		E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。			
			腐食(孔食)	○	無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
	b	主桁、補助桁	変形		無水		E		E,M	変形がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			板厚の減少		無水				M	測定結果により判定のこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
	b		溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。			
			ゆるみ、脱落		無水		E,H	(地)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
	支承部	○	主ローラ、ローラ軸、軸受	摩耗		無水		E		M	摩耗がないこと。		
				損傷		無水		E	(地)	E	損傷がないこと。		
腐食(孔食)					無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
給油状態					無水		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
回転状況					中		D		D	正常に回転すること。			
b		補助ローラ、軸、軸受	摩耗		無水		E		M	摩耗がないこと。			
			損傷		無水		E	(地)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			給油状態		無水		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
			回転状況		中		D		D	正常に回転すること。			
○	摺動板	摩耗		無水		E		M	摩耗がないこと。				
		損傷		無水		E	(地)	E	損傷がないこと。				
		変形		無水		E		E	変形がないこと。				

選択取水設備 水位低下用ゲート(扉体)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり・・・a
機能上影響あり・・・b
機能上影響なし・・・c
- *3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件・・・前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う・・・○
地震時のみ・・・(地)
落雷時のみ・・・(雷)
洪水時のみ・・・(洪)
- *7 整備 A：調整、X：交換、U：補綴
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備	水位低下用ゲート	ゲート形式	鋼製ローラゲート(φ600×1門)	扉体					
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。							
装置区分	点検・整備		項目	内容	点検 *3				判定	備考
	*1 重要機器	*2 影響能度に対する			*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	不定期		
					月点検	年点検	時			
扉体付シープ	○	a	シープ、軸、軸受	給油状態	無水	E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		作動状況	中	D	(地) D	正常に回転すること。		
		a		摩耗	無水	E	M	摩耗がないこと。		
水密部		b	水密ゴム	変形	無水	E	E	変形がないこと。		
		b		損傷	無水	E	E	損傷がないこと。		
		b		劣化	無水	E	E	劣化がないこと。		
		b		漏水	無水	E	E	漏水がないこと。		
		b	ゴム押え板	変形	無水	E	E	変形がないこと。		
		b		損傷	無水	E	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)	無水	E	E	腐食(孔食)がないこと。		

選択取水設備 水位低下用ゲート(戸当り)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 水位低下用ゲート		ゲート形式	鋼製ローラゲート(φ600×1門)				戸当り		
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。						*8	備考
装置区分	点検・整備		*4 トレンド管理	点検 *3				判定		
	*1 重要機器	*2 機能 影響度 に対する		*5 点 検 条 件	定期		不定期		判定方法	
	項目	内容		月 点 検	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
全般	c	清掃状態	汚れ	無水	E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。		
	b		ごみ、流木、土砂等	無水	E	(洪)	E	戸溝にごみ、流木、土砂等がないこと。		
	c	塗装	損傷	無水	E		E	損傷がないこと。		
	c		劣化	無水	E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと。		
埋設部	b	主ローラレール	変形	無水	E	(地)	E	変形がないこと。		
	b		損傷	無水	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	b		腐食(孔食)	無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。		
	c		溶接部の割れ	無水	E	(地)	E	割れがないこと。		
	c	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	無水	E	(地)	E	ゆるみ、脱落がないこと。		
	c		損傷	無水	E		E	損傷がないこと。		
	c		腐食(孔食)	無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。		
	b	補助ローラレール	変形	無水	E	(地)	E	変形がないこと。		
	b		損傷	無水	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	b		腐食(孔食)	無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。		
	b		溶接部の割れ	無水	E	(地)	E	割れがないこと。		

選択取水設備 水位低下用ゲート(開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり・・・a
機能上影響あり・・・b
機能上影響なし・・・c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件・・・前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う・・・○
地震時のみ・・・(地)
落雷時のみ・・・(雷)
洪水時のみ・・・(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備	水位低下用ゲート	ゲート形式	鋼製ローラゲート(φ600×1門)	開閉装置								
設備に要求される機能		確実に規定量の取水ができること。											
装置区分	点検・整備		項目	内容	点検 *3						判定	備考	
	*1重要機器	*2影響能に合する			*4トレンド管理	*5点検条件	定期		不定期				*6臨時
					月点検	年点検	時	日	時	時			
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。			
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変色、白亜化がないこと。			
構造体	b	構造全体	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
	○	フレーム	たわみ		前		E	(地)	E	たわみがないこと。			
			変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。			
	b	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落		前		E,H	(地)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。			
			損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
	動力部	○	電動機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
異常音					中	S	S		S	異常音がないこと。			
温度上昇				○	中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと			
電流値				○	中	E	M	(雷)	M	大幅な変動が無く、定格電流値以下であること。			
電圧値				○	中		M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること			
絶縁抵抗値				○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計で測定を行い、1MΩ以下であること。			
減速装置	○	減速機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと			
			漏油		前	E	E	(地)	E	漏油が無いこと。			
			潤滑油量		前		E		E	規定量があること			
			潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと。			
			内部状態		休				W	内部構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。			
動力伝達部	a	手動装置	作動状況		中	D	D		D	スムーズに切り替えられ、手動操作が行えること。			
			振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
	○	連動軸	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。			
			損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。			
	○	軸受け	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと			
			芯振れ		中				M	異常な芯振れがないこと。			
			給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
a		摩耗		休		E		M	摩耗がないこと。				

選択取水設備 水位低下用ゲート(開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果
から対策の必要なものをNとし、必要
に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備	水位低下用ゲート	ゲート形式	鋼製ローラゲート(φ600×1門)	開閉装置								
設備に要求される機能		確実に規定量の取水ができること。											
装置区分	点検・整備		点検 *3						判定	備考			
	*1重要機器	*2影響能に合対する	内容	*4トレンド管理	定期		不定期				判定方法		
		項目			月点検	年点検	*6臨時	総合					
扉体駆動部	○	b ドラム	変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。					
			損傷	前	E	(地)	E	損傷がないこと。					
			摩耗	休	E		M	摩耗がないこと。					
	○	b ドラム軸	変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。					
			損傷	前	E	(地)	E	損傷がないこと。					
	○	a ワイヤロープ	b ドラムロープ端末	ゆるみ、脱落	前	E	(地)	E	ゆるみ、脱落がないこと。				
			b	ゴミ、異物の付着	前	E	(洪)	E	ゴミ、砂埃等がロープに付着していないこと。				
			a	変形	前	E	(地)	(洪)	E	線の不規則な飛出し、部分的な籠状、キンク等がないこと。			
			a	発錆	前	E		E	発錆がないこと。				
			a	摩耗	○	休	M		M	異常な摩耗がないこと。			
			a	素線切れ	○	前	E	(地)	(洪)	E	異常な素線切れがないこと。		
			a	給油状態	前	E	E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
	保護装置	○	a ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット	前	E	(地)	E	緩みがないこと。				
				ソケット	前	E	(地)	E	割リピンが外れていないこと。				
ロープ長さ				前	E	(地)	E	閉時にロープの緩みが左右同一であること。					
給油状態				前	E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。					
○		a 制限開閉器	作動状況	中	E	(雷)	D	設定値で正常に作動すること。					
			変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。					
			損傷	前	E	(地)	E	損傷がないこと。					
○		a 直動形リミットスイッチ	作動状況	中	E	(雷)	D	設定値で正常に作動すること。					
			変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。					
			損傷	前	E	(地)	E	損傷がないこと。					
開度計	b 機械式	作動状況	中	E	D		D	実揚程と指針表示が合致していること					
		盤面の曇り	前	E		E		E	表示面が透明で、視認に支障がないこと。				

選択取水設備 制水ゲート(扉体)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補修
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 制水ゲート		ゲート形式	鋼製スライドゲート(φ600×1門)				扉体		
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。							
装置区分	点検・整備		点検	*3干潟		*8	判定	備考		
	*1重要機器	*2影響能度に対する項目		*4トレンド管理	*5点検条件				定期	不定期
		内容	月点検	年点検	*6臨時	総合	判定方法			
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E	E	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。		
			ごみ、流木、土砂等	前	E	E	(洪) E	ごみ、流木、土砂等がないこと。		
	b	塗装	損傷	前		E	E	損傷がないこと。		
			劣化	前		E	E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白垂化がないこと。		
扉体	○	構造全体	振動	中	H	H	H	異常振動がないこと。		
			異常音	中	S	S	S	異常音がないこと。		
	b	スキンプレート	変形		無水		E	E	変形がないこと。	
			損傷		無水		E	E	損傷がないこと。	
			溶接部の割れ		無水		E	E	割れがないこと。	
			腐食(孔食)	○	無水		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
	b	主桁、補助桁	変形		無水		E	E、M	変形がないこと。	
			損傷		無水		E	E	損傷がないこと。	
			板厚の減少		無水			M	測定結果により判定のこと。	
			腐食(孔食)		無水		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
			溶接部の割れ		無水		E	E	割れがないこと。	
	b	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落		無水		E、H	(地) E、H	ゆるみ、脱落がないこと。	
			損傷		無水		E	E	損傷がないこと。	
			腐食(孔食)		無水		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
支承部	○	主ローラ、ローラ軸、軸受	摩耗		無水		E	M	摩耗がないこと。	
			損傷		無水		E	(地) E	損傷がないこと。	
			腐食(孔食)		無水		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
			給油状態		無水		E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
			回転状況	中		D	D	D	正常に回転すること。	
	b	補助ローラ、軸、軸受	摩耗		無水		E	M	摩耗がないこと。	
			損傷		無水		E	(地) E	損傷がないこと。	
			腐食(孔食)		無水		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
			給油状態		無水		E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
			回転状況	中		D	D	D	正常に回転すること。	
	○	摺動板	摩耗		無水		E	M	摩耗がないこと。	
損傷				無水		E	(地) E	損傷がないこと。		
変形				無水		E	E	変形がないこと。		

選択取水設備 制水ゲート(扉体)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日 :
------	-----	-------

- *1 重要機器 ……○
 *2 機能上著しく影響あり ……a
 機能上影響あり ……b
 機能上影響なし ……c
 *3 点検 E : 目視、M : 測定、H : 触診・指触
 S : 聴診・聴覚、D : 動作確認、W : 分解
 *4 トレンド管理をする必要がある ……○
 *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
 有水、無水
 *6 臨時点検 全て行う ……○
 地震時のみ ……(地)
 落雷時のみ ……(雷)
 洪水時のみ ……(洪)
 *7 整備 A : 調整、X : 交換、U : 補修
 *8 G : 良好あるいは異常なし
 N : 異常(要処置(保全整備))
 - : 内容の実施なし
 塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 制水ゲート		ゲート形式	鋼製スライドゲート(φ600×1門)				扉体		
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。					*8	備考	
装置区分	点検・整備		項目	内容	点検					判定
	*1 重要機器	*2 機能影響度に対する			*4 トレンド管理	*5 点検条件	*3 干渉			
					定期	不定期	*6 臨時	*6 総合		
					月点検	年点検	時			
扉体付シープ	○	a	シープ、軸、軸受	給油状態		無水	E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
		a		作動状況		中	D	(地) D	正常に回転すること。	
		a		摩耗		無水	E	M	摩耗がないこと。	
水密部	b	水密ゴム	変形		無水	E	E	E	変形がないこと。	
			損傷		無水	E	E	E	損傷がないこと。	
			劣化		無水	E	E	E	劣化がないこと。	
			漏水		無水	E	E	E	漏水がないこと。	
	b	ゴム押え板	変形		無水	E	E	E	変形がないこと。	
			損傷		無水	E	E	E	損傷がないこと。	
			腐食(孔食)		無水	E	E	E	腐食(孔食)がないこと。	

選択取水設備 制水ゲート(戸当り)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A：調整、X：交換、U：補給
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 制水ゲート		ゲート形式	鋼製スライドゲート(φ600×1門)				戸当り			
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。								
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド 管理	点検 *3				*8 判定	備考
	*1 重要 機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る				定期	不定期	判定方法			
					月 点 検	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
全般	c	清掃状態	汚れ		無水	E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。		
	b		ごみ、流木、土砂等		無水	E	(洪)	E	戸溝にごみ、流木、土砂等がないこと。		
	c	塗装	損傷		無水	E		E	損傷がないこと。		
	c		劣化		無水	E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変色、白亜化がないこと。		
埋設部	b	主ローラレール	変形		無水	E	(地)	E	変形がないこと。		
	b		損傷		無水	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	b		腐食(孔食)		無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。		
	c		溶接部の割れ		無水	E	(地)	E	割れがないこと。		
	c	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落		無水	E	(地)	E	ゆるみ、脱落がないこと。		
	c		損傷		無水	E		E	損傷がないこと。		
	c		腐食(孔食)		無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。		
埋設部	b	補助ローラレール	変形		無水	E	(地)	E	変形がないこと。		
	b		損傷		無水	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	b		腐食(孔食)		無水	E		E	腐食(孔食)がないこと。		
	b		溶接部の割れ		無水	E	(地)	E	割れがないこと。		

選択取水設備 制水ゲート(開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 制水ゲート		ゲート形式	鋼製スライドゲート(φ600×1門)				開閉装置				
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。									
装置区分	点検・整備		項目	内容	点検 *3				判定	備考		
	*1 重要機器	*2 影響度に対する機能			*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	不定期			*6 臨時	*8 総合
					月点検	年点検	時	合				
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。			
	b	塗装	損傷		前	E		E	損傷がないこと。			
	b		劣化		前	E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと。			
構造体	○	b	構造全体	振動		中	H	H	H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S	S	異常音がないこと。		
	b	フレーム	たわみ		前	E	(地)	E	たわみがないこと。			
			変形		前	E	(地)	E	変形がないこと。			
			溶接部の割れ		前	E	(地)	E	割れがないこと。			
	b	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落		前	E,H	(地)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。			
			損傷		前	E	E	E	損傷がないこと。			
腐食(孔食)				前	E	E	E	腐食(孔食)がないこと。				
動力部	○	b	電動機	振動		中	H	H	H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S	S	異常音がないこと。		
				温度上昇	○	中	H	M	M	異常な温度上昇がないこと		
				電流値	○	中	E	M	(雷) M	大幅な変動が無く、定格電流値以下であること。		
				電圧値	○	中	M	(雷) M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること			
				絶縁抵抗値	○	断	M	(雷) M	絶縁抵抗計で測定を行い、1MΩ以下であること。			
減速装置	○	b	減速機	振動		中	H	H	H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S	S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H	M	M	異常な温度上昇がないこと		
				漏油		前	E	E	(地) E	漏油が無いこと。		
				潤滑油量		前	E	E	E	規定量があること		
				潤滑油劣化		前	E	E	E	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休			W	内部構成品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
動力伝達部	○	a	手動装置	作動状況		中	D	D	D	スムーズに切り替えられ、手動操作が行えること。		
				振動		中	H	H	H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S	S	異常音がないこと。		
	b	連動軸	変形		前	E	(地) E	E	変形がないこと。			
			損傷		前	E	E	(地) E	E	損傷がないこと。		
	○	b	軸受け	振動		中	H	H	H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S	S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H	M	M	異常な温度上昇がないこと		
				芯振れ		中			M	異常な芯振れがないこと。		
				給油状態		前	E	E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
a		摩耗		休	E	M	摩耗がないこと。					

選択取水設備 制水ゲート(開閉装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- *8 G:良好あるいは異常なし
N:異常(要処置(保全整備))
-:内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果
から対策の必要なものをNとし、必要
に応じて計測記録を残す。

施設名	選択取水設備 制水ゲート		ゲート形式	鋼製スライドゲート(φ600×1門)				開閉装置			
設備に要求される機能			確実に規定量の取水ができること。								
装置区分	点検・整備		項目	内容	点検 *3				判定	備考	
	*1 重要機器	*2 影響度に対する機能			*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	不定期			*6 臨時
					月点検	年点検	時	合			
扉体駆動部	○	b	ドラム	変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。		
				損傷	前	E	(地)	E	損傷がないこと。		
				摩耗	休	E		M	摩耗がないこと。		
	○	b	ドラム軸	変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。		
				損傷	前	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	ワイヤロープ	ゆるみ、脱落	前	E	(地)	E	ゆるみ、脱落がないこと。		
				ゴミ、異物の付着	前	E	(洪)	E	ゴミ、砂埃等がロープに付着していないこと。		
				変形	前	E	(地)	E	線の不規則な飛出し、部分的な籠状、キンク等がないこと。		
				発錆	前	E		E	発錆がないこと。		
				摩耗	○	休	M	M	異常な摩耗がないこと。		
素線切れ				○	前	E	(地)	E	異常な素線切れがないこと。		
給油状態				前	E	E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
内部状態	前			M	内部に腐食、断線がなく、著しい強度低下がないこと。						
保護装置	○	a	ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット	前	E	(地)	E	緩みがないこと。		
				ソケット	前	E	(地)	E	割りピンが外れていないこと。		
				ロープ長さ	前	E	(地)	E	閉時にロープの緩みが左右同一であること。		
				給油状態	前	E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
	○	a	制限開閉器	作動状況	中	E	(雷)	D	設定値で正常に作動すること。		
				変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。		
				損傷	前	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	直動形リミットスイッチ	作動状況	中	E	(雷)	D	設定値で正常に作動すること。		
				変形	前	E	(地)	E	変形がないこと。		
損傷				前	E	(地)	E	損傷がないこと。			
開度計	b	機械式	作動状況	中	E	D	D	実揚程と指針表示が合致していること			
			盤面の曇り	前	E		E	表示面が透明で、視認に支障がないこと。			

選択取水設備 付属施設

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり ……a
機能上影響あり ……b
機能上影響なし ……c
- *3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 ……前、中、後、休、断
有水、無水
- *6 臨時点検 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A：調整、X：交換、U：補綴
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		付属施設		点検台、梯子、踊り場、手摺、防護柵												
設備に要求される機能				操作員の安全の確保												
装置区分	点検・整備			項目	内容	*4 トレンド 管理	点 検 *3				*6 臨時 時 合	判定方法	*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影機 響能 度 に 対 す る					定 期	不 定 期	月 点 検	年 点 検					E	E
							月	年								
全 般	c		清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。					
	b		塗装	損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。					
				劣化		前		E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと。					
梯 子・ 踊 り 場	b		梯子、踊り場	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。					
				損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。					
				腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。					
				溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。					
防 護 柵	b		防護柵	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。					
				損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。					
				腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。					
				溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。					
固 定 部	b		アンカボルト、ナット	ゆるみ、脱落		前		E,H	(地)	E,H	ゆるみ、脱落がないこと。					
				損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。					
				腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。					